



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社  
コード番号 9763 URL <https://www.mcml-maruken.com/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井ノ上 雅弘  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)新井 祐宏  
四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL) 03 (5404) 8200

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,360	2.6	286	6.8	346	9.0	251	7.3
2022年3月期第1四半期	4,249	△11.5	268	△11.8	317	△22.1	234	△22.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 368百万円(20.7%) 2022年3月期第1四半期 305百万円(12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 76.29	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	70.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 30,626	百万円 14,630	% 46.2
2022年3月期	31,947	14,694	44.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,139百万円 2022年3月期 14,193百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 80.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	19,000	△0.5	900	△15.6	1,250	△7.9	900	△10.3	270.05	270.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	3,429,440株	2022年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	186,818株	2022年3月期	96,678株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	3,298,762株	2022年3月期1Q	3,332,940株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、経済社会活動に持ち直しの動きが見られましたが、原材料価格の上昇や供給面での制約等による景気の下振れリスクを含み、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する建設業界におきましては、堅調な公共投資に加え民間建設投資も持ち直しの動きが見られましたが、鋼材・資材、燃料等価格の高止まりの影響を受け厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループの業績は一部工事の着工や進捗の遅延等の影響を受けましたが、コスト削減や採算性の向上に努めた結果、概ね計画通りに進捗しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は43億60百万円(前年同期比1億10百万円、2.6%増)、営業利益2億86百万円(同18百万円、6.8%増)、経常利益3億46百万円(同28百万円、9.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億51百万円(同17百万円、7.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ① 重仮設事業

重仮設鋼材の賃貸稼働量の改善や採算性の向上に努めた結果、売上高は32億74百万円(前年同期比17百万円、0.5%増)となり、セグメント利益は4億1百万円(同31百万円、8.5%増)となりました。

## ② 重仮設工事業

工事進捗が進んだことにより売上高は7億11百万円(同2億8百万円、41.3%増)、セグメント利益は25百万円(同0百万円、2.7%増)となりました。

## ③ 土木・上下水道施設工事等事業

土木・上下水道施設工事や工場プラント工事は堅調に推移したものの、設備工事が低迷したため売上高は3億74百万円(同1億15百万円、23.6%減)、セグメント利益は44百万円(同10百万円、19.8%減)となりました。

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少額11億32百万円、電子記録債権の減少額4億13百万円と投資有価証券の増加額1億61百万円などにより、前期末比13億21百万円減の306億26百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少額7億76百万円、その他流動負債の減少額5億18百万円などにより、前期末比12億57百万円減の159億95百万円となりました。

純資産合計は、自己株式取得などにより前期末比64百万円減の146億30百万円となりましたが、資産合計がそれ以上に減少したため、自己資本比率は1.8ポイント増の46.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、2022年5月11日公表の2023年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,038	938
受取手形、売掛金及び契約資産	5,227	4,094
電子記録債権	1,946	1,533
建設機材	8,615	8,595
商品	709	754
材料貯蔵品	255	255
未成工事支出金	47	45
その他	334	483
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	18,146	16,673
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,116	1,104
有形固定資産合計	9,143	9,131
無形固定資産		
	5	4
投資その他の資産		
投資有価証券	4,022	4,183
退職給付に係る資産	102	105
その他	540	541
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	4,651	4,816
固定資産合計	13,801	13,952
資産合計	31,947	30,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,713	4,937
電子記録債務	1,002	1,176
短期借入金	2,879	2,704
1年内返済予定の長期借入金	1,085	1,105
未払法人税等	125	114
契約負債	865	748
賞与引当金	220	345
その他の引当金	53	35
その他	2,170	1,651
流動負債合計	14,116	12,819
固定負債		
長期借入金	2,140	2,180
退職給付に係る負債	23	23
その他	973	973
固定負債合計	3,137	3,176
負債合計	17,253	15,995
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	8,414	8,399
自己株式	△136	△303
株主資本合計	11,853	11,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310	310
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	93	220
退職給付に係る調整累計額	△39	△39
その他の包括利益累計額合計	2,340	2,467
非支配株主持分	501	491
純資産合計	14,694	14,630
負債純資産合計	31,947	30,626

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,249	4,360
売上原価	3,424	3,494
売上総利益	825	865
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	270	256
福利厚生費	63	63
地代家賃	44	44
退職給付費用	2	5
賞与引当金繰入額	72	93
その他	103	116
販売費及び一般管理費合計	556	579
営業利益	268	286
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	14
持分法による投資利益	20	39
その他	30	17
営業外収益合計	63	71
営業外費用		
支払利息	10	7
その他	3	3
営業外費用合計	13	11
経常利益	317	346
税金等調整前四半期純利益	317	346
法人税、住民税及び事業税	121	105
法人税等調整額	△35	△0
法人税等合計	85	104
四半期純利益	231	241
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	234	251

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	231	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
退職給付に係る調整額	△1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	81	127
その他の包括利益合計	73	127
四半期包括利益	305	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308	378
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△10



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式90,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が166百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が303百万円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。この適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	2,649	—	168	2,817	—	2,817
一定の期間にわたり移転 される財	607	503	321	1,432	—	1,432
顧客との契約から生じる 収益	3,256	503	489	4,249	—	4,249
外部顧客への売上高	3,256	503	489	4,249	—	4,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,256	503	489	4,249	—	4,249
セグメント利益	369	24	55	449	△181	268

(注) 1 セグメント利益の調整額△181百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	2,666	—	188	2,855	—	2,855
一定の期間にわたり移転 される財	607	711	185	1,504	—	1,504
顧客との契約から生じる 収益	3,274	711	374	4,360	—	4,360
外部顧客への売上高	3,274	711	374	4,360	—	4,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,274	711	374	4,360	—	4,360
セグメント利益	401	25	44	470	△184	286

(注) 1 セグメント利益の調整額△184百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。